

2022国際協同組合デーin 愛知（円卓会議）

## 協同組合の可能性と役割を考える

日時：2022年7月6日（水）13時～16時

会場：オンラインで開催・交流します

開会・基調講演 13時～14時

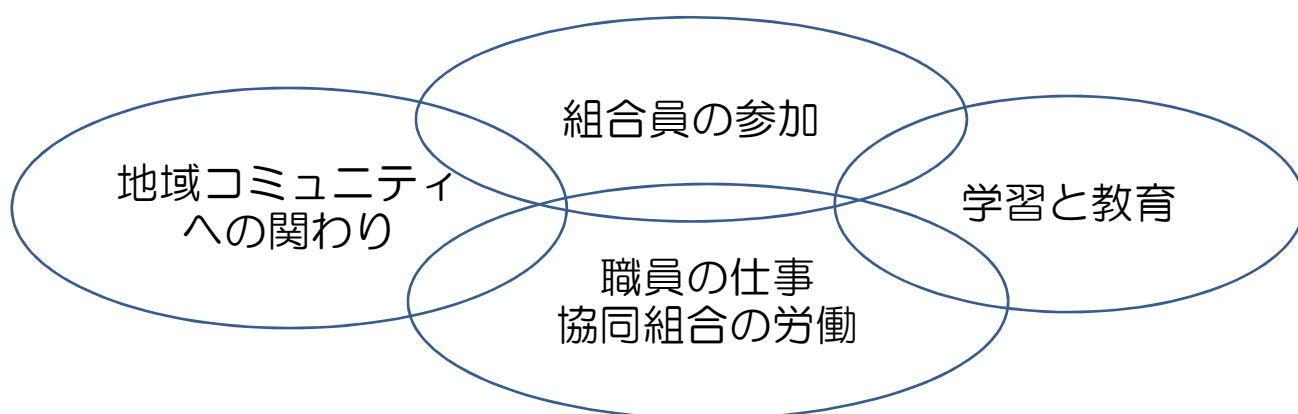
「協同組合のアイデンティティ声明」を現代に生かす  
第33回 ICA ソウル大会をスタートにした  
「アイデンティティ」見直し・検討のスケジュール

講師：前田健喜氏（まえだ・けんき／日本協同組合連携機構協同組合連携 2 部部長、主席研究員）

おもな研究・関心・専門分野：協同組合間協同／協同組合論／社会構想

経歴：1989年 JA 全中に入会／1996年より米国ワシントン DC のアーター&ハーデン社に出向／1999年より食料農業対策部、組織経営対策部、くらしの活動推進部、広報部等での勤務を経て、2014年より総務企画部協同組合連携課長／2016年より一般社団法人 JC 総研協同組合研究部長、2018年4月より現職

分散会（円卓会議） 14時～15時20分



全体会 15時20分～16時

協同組合ネットあいち発足宣言  
愛知・協同組合間協同連絡会

主催 2022 国際協同組合デーIN 愛知実行委員会

## 企画詳細 基調講演

### 「協同組合のアイデンティティ声明」を現代に生かす

ICA(国際協同組合連盟)は、昨年12月にソウルで開かれたICA大会で、1995年のICA100周年大会で採択した「協同組合のアイデンティティ声明(協同組合の定義・価値・原則)」にそって各国の協同組合が現代社会での役割を発揮できているかどうか、また「アイデンティティ声明」自身の見直しが必要かどうかの検討を呼びかけました。

これは“協同組合らしさ(アイデンティティ)をしっかりと発揮できているか”という問いかけでもあります。

基調講演では、①世界の協同組合にとって「アイデンティティ声明」にそった検討が必要な理由となっている社会環境や時代背景はなにか、②これから、どのように検討や見直しの話し合いを進めるのか、③日本の協同組合ではどのように関わるのか、などについてお話いただきます。

## 分散会(円卓会議)

基調講演をもとに、分散会で話し合います。

分散会では、さまざまな分野の協同組合関係者や、協同組合に関心を持つ市民・NPOなどとともに、「協同組合らしさ」が発揮できているか、「どのような期待や課題があるか」、「7つの原則※についてそれぞれで実現できていること、いないことは何か」を話し合います。

話し合いのキーワードは「地域コミュニティの課題を一緒に取り組んでいるか」、「組合員が参加して力を発揮できているか」、「協同組合で働く職員として努力することは」、「協同組合について学び・知らせているか」など、各位でふりかえり、実践例や関心事を話し合います。

※日本生活協同組合連合会HP: [協同組合の定義・価値・原則～「協同組合のアイデンティティに関するICA声明」](https://jccu.coop/about/vision/ica.html)  
(<https://jccu.coop/about/vision/ica.html>)

## 協同組合ネットあいちの発足

2022年7月6日(水)国際協同組合デーin愛知では「協同組合ネットあいち(愛知・協同組合間協同連絡会)」発足を確認します。

これまで、2012国際協同組合年を契機に「愛知の協同組合間協同相談会」として、国際協同組合デーの記念行事や「食と農」「医療・介護・福祉」「人材交流」「災害時連携」などを進めてきました。さらに昨年2021年度にはJCA(日本協同組合連携機構)の呼びかけをうけて記念行事を「円卓会議」として開催し、他分野の協同組合や連携するNPOの参加に広がりました。こうした10年間の蓄積をもとに、さらに幅広く参加しやすい「協同組合間協同連絡会」として改組します。

多くの皆様の参加をお待ちしています。